

おごりと すみなみ

⑱ 小郡鳥栖南スマートインターチェンジアクセス道路整備事業

受賞機関 福岡県 県土整備部
佐賀県 県土整備部

キーワード 県境道路、物流効率化、渋滞緩和、
高速道路上及び鉄道上での橋梁架設

全建賞審査委員会の評価ポイント

九州自動車道小郡鳥栖南スマートICのアクセス道路が福岡・佐賀両県の連携で整備され、6橋を含む1.6kmが約5年で完成。利用台数は計画を上回り、物流効率化や災害時の輸送確保に寄与。スマートICの整備に当たり、災害発生土の流用など、様々なコスト縮減策を実施し、着実に整備を進めた点が評価された。

1. はじめに

本事業は、国道3号など、福岡県及び佐賀県の幹線道路から九州自動車道小郡鳥栖南スマートICへ直接アクセスする道路として、両県が連携して整備した事業である。

2. 事業の概要

事業延長1.6kmの新設道路で、6つの橋梁を架設した。事業期間は約5年（平成30年度～令和5年度）と短期間で完成した。

事業を効果的・効率的に完了させるため、次の対策を実施した。

1) 土砂ストックヤードの設置

平成29年7月九州北部豪雨で発生した災害発生土を受け入れる土砂ストックヤードを設置し、約50万m³の土砂を有効活用するとともに、コスト縮減も実現した。

2) 高速道路上における効率的な橋梁架設

鳥栖基里大橋は、九州自動車道（6車線、交通量6万台以上/日）と秋光川を跨ぐ橋梁である。多軸式特殊台車による一括架設工法を採用することで、1日限定で、夜間9時間の通行止めを実施して施工し、高速道路への影響を最小限に抑えた。

3) 鉄道上における効率的な橋梁架設

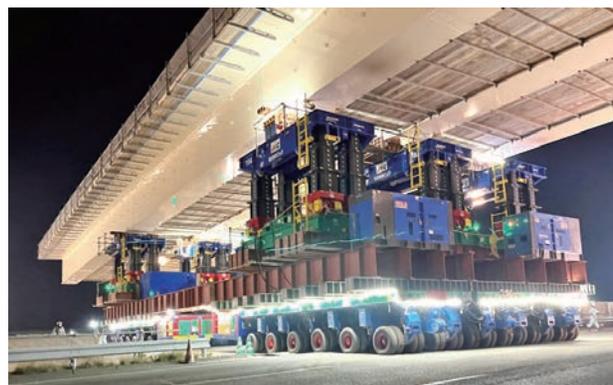
福童跨線橋は、西鉄天神大牟田線を跨ぐ橋梁である。施工時間には「2日に1回、2時間」という制約があったが、オールテレーンクレーン（全地形対応型クレーン車両）（450t）による架設工法を採用することで、制限時間内で架設作業を完了した。

4) 安全連絡協議会の設置

事業を遅滞なく円滑に推進するため、事業関係者で構成する安全連絡協議会を設置した。福岡県側（福岡県、小郡市、NEXCO西日本、施工業者）、佐賀県側（佐賀県、施工業者）で、それぞれ毎月1回以上、合計83回協議会を開催し、工事の進捗状況の共有や工程の調整などを一体となって取り組んだ。

5) イベントの実施

地域の交流を深め、公共事業のイメージアップを図り、土木の魅力を発信するため、アクセス道路の開通に先立ち、地元の小中学生を招待してイベントを開催した。



多軸式特殊台車による一括架設

3. 事業の成果

小郡鳥栖南スマートICの利用台数は、6,378台/日（令和7年3月時点）と、計画交通量4,200台/日をすでに上回っている。今後、物流の効率化や開発・企業誘致の促進による雇用創出が期待される。さらに、高速道路利用者と現道利用者の分散による交通渋滞の緩和、大規模災害時の救援・救護活動や物資輸送のルート確保などの効果も期待される。



小郡鳥栖南スマートICアクセス道路

4. おわりに

本事業は、全国初となる2県に跨がるスマートICにアクセスする新設道路を、福岡県・佐賀県で連携して整備したものである。今後、県境のシームレスな土地利用の促進が期待される。